

グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）1 グリーンエネルギーCO₂削減計画（実績）1. 1 グリーンエネルギーCO₂削減計画の名称太陽光を利用した発電による CO₂ 排出削減1. 2 グリーンエネルギーCO₂削減計画に関わる設備（詳細）別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」 1. 参照。1. 3 グリーンエネルギーCO₂削減計画に適用される方法論

注 1) 本計画に適用される方法論にチェックすること。

チェック	種別方法論 番号	種別方法論名称
<input type="checkbox"/>	P001	風力発電
<input checked="" type="checkbox"/>	P002	太陽光発電
<input type="checkbox"/>	P003-1	バイオマス発電（鶏糞、バガス等）
<input type="checkbox"/>	P003-2	バイオガス発電
<input type="checkbox"/>	P003-3	木質バイオマス発電
<input type="checkbox"/>	P004-1	河川に設置する新設水力発電
<input type="checkbox"/>	P004-2	既設設備等に付加して設置される水力発電
<input type="checkbox"/>	P004-3	離島の河川に設置された既設水力発電
<input type="checkbox"/>	P005	地熱発電
<input type="checkbox"/>	H001-1	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（単独供給方式））
<input type="checkbox"/>	H001-2	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（複数供給方式））
<input type="checkbox"/>	H001-3	太陽熱（太陽熱利用セントラルシステム（給湯・暖房））
<input type="checkbox"/>	H002-1	バイオマス熱（木質バイオマス熱利用システム）
<input type="checkbox"/>	H002-2	バイオマス熱（木質バイオマス蒸気供給施設（熱電供給システム））
<input type="checkbox"/>	H002-3	バイオガス熱
<input type="checkbox"/>	H002-4	バイオマス熱供給施設
<input type="checkbox"/>	H003	雪氷エネルギー（熱交換冷水循環式雪氷エネルギー施設）

1. 4 グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定注 1) 「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法を記載すること。注 2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の個別の値（実績）については別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」 3. 参照。

$$E_{PC} = E_{PG} - E_{PS} - E_{PA}$$

$$E_{MP} = (E_{PS} + E_{PC}) \times CEF_{\text{electricity,t}}$$

記号	定義	単位
E _{PS}	太陽光発電実施期間における系統への販売電力量	kWh
E _{PC}	太陽光発電実施期間における自家消費電力量	kWh
E _{PG}	太陽光発電実施期間における発電電力量	kWh
E _{PA}	太陽光発電実施期間における発電補機消費電力量	kWh
E _{MP}	太陽光発電実施期間における排出削減量	kgCO ₂
CE _F _{electricity,t}	太陽光発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /kWh

1. 5 グリーンエネルギーCO₂削減計画の認証申請期間

開始日 2022年3月2日

終了日 2025年3月31日

注) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施期間については、別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト(実績)」5.に記載すること。

1. 6 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画からの変更項目

注) 変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

無し

2 グリーンエネルギー運営・管理計画(実績)

2. 1 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者によるモニタリング方法及び報告方法

注1) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者におけるモニタリング方法、及び当該実施者から運営・管理者への報告方法(体制)を記載すること。

注2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業のモニタリング責任者及び実施者については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト」4.参照。

注3) 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点がある場合はその旨記載すること。なお、変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

(1) グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者(発電事業者)

【1】 毎月末または毎四半期末において、モニタリング実施者およびモニタリング責任者にて、日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料など、グリーン電力発電電力量を算出するために必要となる資料を作成する。

【2】 毎月初めまたは毎四半期初めにおいて、メール・FAX・郵送などにより、グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者より運営・管理者へ報告する。

(2) 運営・管理者(証書発行事業者:日本自然エネルギー(株))

【1】 グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者から受領したデータをもとに、各四半期のグリーン電力発電電力量を算出する。

【2】 算出したグリーン電力発電電力量について、検証機関による検証終了後、グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証委員会事務局へ報告する。

なお、グリーン電力発電電力量の計量体制を様式3-2別紙添付に示す。

2. 2 モニタリングの対象及び方法

注1)「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の5. 算定根拠に係るモニタリング方法に掲げられている記号と、それに係る定義、単位、モニタリング方法を記載すること。

記号	定義	単位	モニタリング方法
E _{PS}	太陽光発電実施期間における系統への販売電力量	kWh	検定済み電力計による計測、発電月報による確認
E _{PG}	太陽光発電実施期間における太陽光発電電力量	kWh	検定済み電力計による計測、発電月報による確認
E _{PA}	太陽光発電実施期間における太陽光発電補機消費電力量	kWh	電力計による計測又は補機容量に稼働時間を乗じた値
CE _{Electricity,t}	太陽光発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /kWh	デフォルト値を利用 $CE_{Electricity,t} = C_{mo} \cdot (1-f(t)) + C_a(t) \cdot f(t)$ ここで、 t : 事業開始日以降の経過年 C _{mo} : 限界電源二酸化炭素排出係数 C _a (t) : t年に対応する全電源二酸化炭素排出係数 f(t) : 移行関数 $f(t) = \begin{cases} 0 & [0 \leq t < 1\text{年}] \\ 0.5 & [1\text{年} \leq t < 2.5\text{年}] \\ 1 & [2.5\text{年} \leq t] \end{cases}$

3 グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）

3. 1 グリーンエネルギーCO₂削減相当量保有予定者に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」1. 参照。

3. 2 環境価値が除かれた電気価値・熱価値の帰属先に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」2. 参照。

様式3-2別紙1 審査リスト

No.	審査番号	1. 事業内容に関する情報				2. 申請項目に関する情報	3. 申請内容に関する情報	4. 申請内容に関する情報							5. 申請内容に関する情報					
		1.1 発電所名称	1.2 発電所所在地	1.3 型式	1.4 設備容量			1.5 建設開始(予定)年月日	1.6 系統/発電消費	1.7 発電所特定番号(2桁)	2.1 設備の種類	2.2 設備の出力	2.3 設備の出力	2.4 設備の出力	2.5 設備の出力	2.6 設備の出力	2.7 設備の出力	5.1 開始日	5.2 終了予定日	
1	11-19-001	東京国際エアポーター-ターミナル太陽光発電所(2022年度)	東京都大田区羽田空港2丁目	多層型薄膜シリコン	2,011.8kW	2019年9月	自家消費	-	(a) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	1,215,196	1,215,196	0	0	1,215,196	0.439	533,471	933		2022年4月1日	2023年3月31日
2	11-19-002	東京国際エアポーター-ターミナル太陽光発電所(2023年度)	東京都大田区羽田空港2丁目	多層型薄膜シリコン	2,011.8kW	2019年9月	自家消費	-	(b) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	1,359,708	1,359,708	0	0	1,359,708	0.432	587,393	947		2023年4月1日	2024年3月31日
3	11-19-003	東京国際エアポーター-ターミナル太陽光発電所(2024年度)	東京都大田区羽田空港2丁目	多層型薄膜シリコン	2,011.8kW	2019年9月	自家消費	-	(c) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	1,182,346	1,182,346	0	0	1,182,346	0.435	514,320	914		2024年4月1日	2025年3月31日
4	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年3月:2022年度)	全国各地	単結晶	204,231.50kW	1997年3月	系統	-	(a) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	8,754,855	8,754,855	0	0	8,754,855	0.422	3,694,548	3,694		2022年3月2日	2023年3月31日
	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年3月:2022年度)	全国各地	単結晶	204,231.50kW	1997年3月	系統	-	(b) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	11,214,734	2,459,879	0	0	2,459,879	0.419	1,030,689	1,030		2022年4月1日	2022年4月14日
5	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年4月)	全国各地	単結晶	204,231.50kW	1997年3月	系統	-	(c) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	11,205,395	11,205,395	0	0	11,205,395	0.419	4,695,060	4,695		2022年4月2日	2022年5月14日
6	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年5月)	全国各地	単結晶	204,231.50kW	1997年3月	系統	-	(a) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	12,068,746	12,068,746	0	0	12,068,746	0.419	5,056,804	5,056		2022年5月2日	2022年5月14日
7	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年3月)	全国各地	単結晶	159,370.10kW	1997年9月	系統	-	(b) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	8,885,184	8,885,184	0	0	8,885,184	0.422	3,749,547	3,749		2022年2月16日	2022年3月31日
8	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年4月:2021年度)	全国各地	単結晶	159,370.10kW	1997年9月	系統	-	(a) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	8,642,025	3,159,947	0	0	3,159,947	0.422	1,333,497	1,333		2022年3月16日	2022年3月31日
	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年4月:2022年度)	全国各地	単結晶	159,370.10kW	1997年9月	系統	-	(b) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	8,642,025	5,502,078	0	0	5,502,078	0.419	2,305,370	2,305		2022年4月1日	2022年4月30日
9	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年10月)	全国各地	単結晶	159,370.10kW	2009年12月	系統	-	(c) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	2,105,101	2,105,101	0	0	2,105,101	0.412	867,301	867		2023年9月16日	2023年10月31日
10	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年11月)	全国各地	単結晶	159,370.10kW	2009年12月	系統	-	(a) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	2,063,188	2,063,188	0	0	2,063,188	0.412	850,033	850		2023年10月16日	2023年11月30日
11	24-19-001	太陽光発電プログラム全額2(2024年度)	全国各地	単結晶	241,352.70kW	2011年1月	系統	-	(b) 当該設備のグリーン電力の種別に関する情報	14,158,562	14,158,562	0	0	14,158,562	0.414	5,861,644	5,861		2024年7月16日	2024年8月31日
合計																91,034				

※1 申請内容における全発電容量の内、一部の発電容量について本年度的対象とするケースを考慮し、当該容量を除くこと。
 ※2 申請内容における全発電容量(プログラム1とプログラム2の合計)がCO2削減率(%)を算出するための対象となる発電容量の割合は、(注1)発電容量(EW(kWh))と削減率(%)を比較すること。
 (削減率において、算出したグリーンエネルギーCO2削減率(%)が算出対象とならない限り、チェックが必ず記載されています。)

No.	審査番号	事業内容に関する情報	申請項目に関する情報	4. 申請内容に関する情報							5. 申請内容に関する情報	
				2.1 設備の種類	2.2 設備の出力	2.3 設備の出力	2.4 設備の出力	2.5 設備の出力	2.6 設備の出力	2.7 設備の出力	5.1 開始日	5.2 終了予定日
1	11-19-001	東京国際エアポーター-ターミナル太陽光発電所(2022年度)	総計対象発電容量	1,215,196	1,215,196	0	0	1,215,196	0.439	533,471	1,215,196	
2	11-19-002	東京国際エアポーター-ターミナル太陽光発電所(2023年度)	総計対象発電容量(申請分)	1,359,708	1,359,708	0	0	1,359,708	0.432	587,393	1,359,708	
			総計対象発電容量(申請分)	1,359,708	1,359,708	0	0	1,359,708	0.432	587,393	1,359,708	
3	11-19-003	東京国際エアポーター-ターミナル太陽光発電所(2024年度)	総計対象発電容量	1,182,346	1,182,346	0	0	1,182,346	0.435	514,320	1,182,346	
			総計対象発電容量(申請分)	1,182,346	1,182,346	0	0	1,182,346	0.435	514,320	1,182,346	
4	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年3月:2022年度)	総計対象発電容量	11,214,734	8,754,855	0	0	8,754,855	0.422	3,694,548	8,754,855	
			総計対象発電容量(申請分)	11,214,734	8,754,855	0	0	8,754,855	0.422	3,694,548	8,754,855	
5	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年3月:2022年度)	総計対象発電容量	11,214,734	2,459,879	0	0	2,459,879	0.419	1,030,689	2,459,879	
			総計対象発電容量(申請分)	11,214,734	2,459,879	0	0	2,459,879	0.419	1,030,689	2,459,879	
6	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年4月)	総計対象発電容量	11,205,395	11,205,395	0	0	11,205,395	0.419	4,695,060	11,205,395	
			総計対象発電容量(申請分)	11,205,395	11,205,395	0	0	11,205,395	0.419	4,695,060	11,205,395	
7	21-19-001	太陽光発電プログラム1(2022年5月)	総計対象発電容量	12,068,746	12,068,746	0	0	12,068,746	0.419	5,056,804	12,068,746	
			総計対象発電容量(申請分)	12,068,746	12,068,746	0	0	12,068,746	0.419	5,056,804	12,068,746	
8	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年3月)	総計対象発電容量	8,885,184	8,885,184	0	0	8,885,184	0.422	3,749,547	8,885,184	
			総計対象発電容量(申請分)	8,885,184	8,885,184	0	0	8,885,184	0.422	3,749,547	8,885,184	
9	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年4月:2021年度)	総計対象発電容量	8,642,025	3,159,947	0	0	3,159,947	0.422	1,333,497	3,159,947	
			総計対象発電容量(申請分)	8,642,025	3,159,947	0	0	3,159,947	0.422	1,333,497	3,159,947	
10	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年4月:2022年度)	総計対象発電容量	8,642,025	5,502,078	0	0	5,502,078	0.419	2,305,370	5,502,078	
			総計対象発電容量(申請分)	8,642,025	5,502,078	0	0	5,502,078	0.419	2,305,370	5,502,078	
11	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年10月)	総計対象発電容量	2,105,101	2,105,101	0	0	2,105,101	0.412	867,301	2,105,101	
			総計対象発電容量(申請分)	2,105,101	2,105,101	0	0	2,105,101	0.412	867,301	2,105,101	
12	21-19-002	太陽光発電プログラム2(2022年11月)	総計対象発電容量	2,063,188	2,063,188	0	0	2,063,188	0.412	850,033	2,063,188	
			総計対象発電容量(申請分)	2,063,188	2,063,188	0	0	2,063,188	0.412	850,033	2,063,188	
13	24-19-001	太陽光発電プログラム全額2(2024年度)	総計対象発電容量	14,158,562	14,158,562	0	0	14,158,562	0.414	5,861,644	14,158,562	
			総計対象発電容量(申請分)	14,158,562	14,158,562	0	0	14,158,562	0.414	5,861,644	14,158,562	

検証結果報告書（実績）

2025年5月16日

日本自然エネルギー株式会社
代表取締役社長 加藤 圭輝 殿

東京都千代田区神田須田町1-25
JR 神田万世橋ビル
一般財団法人日本品質保証機構
理事 浅田 純男

一般財団法人日本品質保証機構は、日本自然エネルギー株式会社が作成した「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証申請書」（排出削減事業の名称：太陽光を利用した発電によるCO2排出削減、日付2025年4月28日）について、「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度運営規則」（2025年3月7日経済産業省・環境省）に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2削減計画名	太陽光を利用した発電によるCO2排出削減
グリーンエネルギーCO2削減計画申請者名	日本自然エネルギー株式会社
事業実施場所	① 東京都大田区羽田空港2丁目 ② 全国各地 ③ 全国各地
事業の概要	① 東京国際エアカーゴターミナル太陽光発電所 ② 太陽光発電プログラム1 ③ 太陽光発電プログラム2
グリーンエネルギーCO2削減相当量の計画	「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画」段階では保有予定者は未定で申請がされていたが、今回実績報告においては、様式3-2別紙2の配分計画（実績）のとおり
申請期間	2022年3月2日～2025年3月31日
方法論	$E_{PC} = E_{PG} - E_{PS} - E_{PA}$ $E_{MP} = (E_{PS} + E_{PC}) \times CEF_{electricity,t}$

2. 検証結果

以下に示す実施した検証手続きの概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO₂削減相当量については、「グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度運営規則」に定める要件及び「方法論」並びに当機構が定めた「方法論に関する追加要件」に適合しているものと判断できる。

なお、詳細については「CO₂削減相当量検証結果一覧表」に示す。

3. 実施した検証手続きの概要

<p>排出削減量の実績及びグリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画が示され、かつ当該内容が運営規則及び方法論に適合していること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 排出削減量の実績は、様式3-2別紙1により確認でき、また、配分計画は、様式3-2別紙2により、排出削減相当量保有予定者及び保有予定量を確認でき、残りの実績量については配分予定なしを確認した。 排出削減量の算定において、事業開始日以降の経過年数が2.5年以上のため、方法論「3. 2 電力排出係数のデフォルト値の考え方」に基づき、移行関数 $f(t)$ は2.5年以上であること、また自家消費分に付随する環境価値は全電源平均CO₂排出係数（受電端）を、系統の販売電力に付随する環境価値は全電源平均CO₂排出係数（送電端）を用い、また、種別方法論「P002 太陽光発電 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」の計画に基づき算定されていることを確認し適合しているものと判断できる。
<p>認定グリーンエネルギーCO₂削減計画、グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証申請書のとおり確実に電力量又は熱量が算定され、かつ算定された電力量又は熱量に基づき方法論に従って正確にグリーンエネルギーCO₂削減相当量が算定されていること</p>	<p>種別方法論「P002 太陽光発電 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」に基づき、計画申請時に提示されたモニタリング方法のとおり、申請者提出の資料により、別紙「CO₂削減相当量検証結果一覧表」のとおり算定結果を確認した。以上より、今回の実施期間における算定結果は、方法論に基づいて、正確にグリーンエネルギー削減相当量が算定されていると判断できる。</p>
<p>グリーンエネルギーCO₂削減相当量が適切に配分されていること</p>	<p>今回、グリーンエネルギーCO₂削減相当量の配分先は様式3-2別紙2により確認でき、適切に配分されているものと判断できる。なお、「配分予定なし」については、グリーン電力証書制度における証書販売と本計画の差異により生じるものであり、問題ないものと判断する。</p>
<p>各グリーンエネルギーCO₂削減事業が適切に管理され、モニタリング対象となる項目が正確に把握されていること</p>	<p>様式3-2グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）「2. グリーンエネルギー運営・管理計画（実績）」に基づき、様式3-2別紙1添付のとおり、計量体制が実施されていることが提出資料により確認ができ、モニタリング対象項目も提出資料により正確に把握されていることが確認できる。</p>
<p>認定グリーンエネルギー</p>	<p>今回は、認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点は、なし。</p>

CO2削減計画から変更された点（グリーンエネルギーCO2削減事業の追加を含む。）について、運営規則及び方法論に照らし適切であること	
---	--

（添付資料）

- ・ 3. の各項目の根拠資料

【検証機関作成資料】

- ・ CO2削減相当量検証結果一覧表

【申請者作成資料】

- ・ 様式3-1、3-2、3-2別紙1、3-2別紙1添付、3-2別紙2
- ・ 発電実績管理表
- ・ 太陽光発電プログラム 参加者リストおよび集計
- ・ 電力量認証一覧